



京都府立林業大学校が 来年4月開校

～次代の担い手とともに成長、
発展する大学校を目指して～

次代の林業の担い手を

「森林・林業再生プラン」がスタートし、林業への関心が高まる中、西日本では唯一となる林業専門の大学校「京都府立林業大学校」が平成24年4月の開校に向けて、10月から募集を開始します。

設立の背景には、京都だけでなく全国の人工林の多くが伐採期を迎える一方で、林業従事者の減少や高齢化による人手不足という状況があります。

即戦力の育成を

林業大学校は、日本の林業の大きな課題である「低コスト化」に欠かせない最新鋭の高性能林業機械の操作研修を取り入れるなど、林業の将来を見据えた教育体制を整えており、西日本を中心に全国から広く学生を募集しています。また、京都の多くの大学・企業と連携した実習や、第一線で活躍する方々を講師に迎えることで、幅広い人材の育成を目指します。

教育体系は、高校の新卒者などを対象とした森林林業科と、働きながら学ぶことのできる研修科の2つに分かれています。

森林林業科には林業専攻と森林

公共人材専攻の2専攻があり、2年間で森林・林業の基礎から経営管理、実践的な技術、知識を学び、様々な資格を取得して、就職・就業に結びつく即戦力を養います。研修科には、林業の現場に必要な技術・知識を身につけ、着実な就業につなげる「林業トレーニングコース」、林業事業体の企業的な経営展開に必要な経営実学・技術を学べる「経営高度化コース」などがあり、多様なニーズに対応しています。

地域との連携の下で

「私たちが目指しているのは、地域社会と連携して行う、実践的

な技術を持った人材の育成です。」と話すのは京都府林務課の山口副課長。「森林林業科では2年生時にキャップストーン研修という実地実習を行います。高齢化の進む現場に、研修という形で若手を受け入れていただき、就職・就業にまでつなげればと考えています。また、地域における公共人材の育成にも力をいれ、将来的にはNPOや企業のCSRなどで活躍できる、地域密着型のリーダーを輩出できるようにしていきます。」

次代の担い手とともに成長し、発展する大学校を目指す京都府立林業大学校に期待が高まります。

京都府立林業大学校とは

- ・西日本で唯一の林業専門の大学校 **西日本 Only 1**
- ・全国初の本格的な高性能林業機械の技術研修を実施 **全国 Only 1**
- ・農山村地域での深刻な野生鳥獣害に対応する研修を実施 **全国 Only 1**
- ・森林や木材の利用、建築、文化など幅広い講座を提供 **全国 Only 1**

学生募集要項

森林林業科：林業専攻
森林公共人材専攻
修学期間2年、募集人員計20名

研修科：林業トレーニングコース
経営高度化コース
森林保全・鳥獣害対策コース
年1回春募集、修学期間2ヶ月～、募集人員各20名
森と木の文化コース
年4回募集、定員40名程度

募集期間(森林林業科)
推薦入試 平成23年10月中旬～10月下旬
一般入試 前期：平成23年12月上旬～12月中旬
後期：平成24年1月下旬～2月上旬

お問合せ先

京都府 農林水産部 林務課 企画・経営担当
TEL：075-414-5001, 5016
FAX：075-414-5010